



20万分の1地質図幅の新刊

秋田及び男鹿

AKITA AND OGA

20万分の1地質図幅

地域地質研究報告

編集 大沢 稔・須田芳朗

発行 工業技術院 地質調査所

取扱先 東京地学協会 (03) 261-0809・262-1401

- ・20万分の1地質図幅「秋田」(1960)及び「男鹿島」(1960)を改訂し 両者をあわせたものである。
- ・本図幅地域に含まれる男鹿半島及び秋田市周辺一帯は東北地方グリーン・タフ地域の第三系層序の模式地であって 古くから地質研究が行なわれている。西部

は油田地帯であり 中部—東部は金属鉱床の密集地帯であり かつ東部は地熱地帯でもある。

- ・第三系を下位から西男鹿階・台島階下部・台島階上部・西黒沢階・女川階・船川階・天徳寺階・笹岡階に細分し 全域を細かく表現した。 全凡例数は64である。
- ・第三系の地質構造が いわゆる“油田褶曲方向”(N—S性)とNW—SE方向とによって構成されていることがよくあらわされている。
- ・北東部の八幡平地域は サンシャイン計画の委託による「広域熱構造調査法の研究開発」(未発表)の成果をくみこんで編集されている。
- ・この地質図の2つの断面図は 10数本の深度1,000—3,500m間の試掘井のデータを使って 水平;垂直 1:1で表現されている。

・A—B—Cの断面図では 太平洋地塊の隆起によって大又層から船川層までがほとんど垂直に近い急傾斜(1部は逆転)を示している。 また一方 秋田平野では沈降をつづけ 層厚4,000 m以上に達する含油第三系を堆積したことをよくあらわしている。

- ・D—E—F—G—Hの断面図では 北は能代から南は本荘南方をへて酒田衝上断層群につらなる 北由利衝上断層群の構造が見事に画かれている。
- ・この地質図の北隣の20万分の1地質図幅「弘前および深浦」が1978年に出版されている。 両地質図とも精度がすこぶる高く 5万分の1地質図幅が全域にわたって出版されていない現在 利用価値がすこぶる高い。

地質ニュース	第321号	5月号
	定価 ¥540	干実費
昭和56年5月1日	発行	
編集	工業技術院	地質調査所
発行人	林 久	雄
発行及印刷	株式会社 家業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03)265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物仕入部
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03)582-4866	